



はなみづき

VOL
50

令和3年 秋号



コロナウイルス感染症の流行で皆様の生活にも様々な影響が出ていることと思います。全国では夏の風物詩と呼ばれた行事が二年連続で中止となり、オリンピックとパラリンピックの喧噪だけが記憶に残りました。

インフルエンザのワクチン接種が例年より速く終了した昨冬は、インフルエンザ肺炎よりもコロナウイルスによる高齢者の重症肺炎が問題となりました。しかし現在では、高齢者接種が進展したため、就労年齢や出産年齢の方々など、むしろ若い年齢層でコロナウイルス感染症が増加しつつあり、今後は家族内や学校／職場などの流行が懸念される段階です。

大正時代に世界的に流行したスペイン風邪も数度の流行が見られました。当時は第一次世界大戦中のため軍隊、学校、職場などその時々で異なる集団がクラスターとなり市中での流行が繰り返されたと考えられています。予防や治療の未確立の時代は、ペスト、マラリア、チフス、コレラなどの経験から蓄積された疫学調査や行動制限の手法が流行の鎮静化には唯一の手段でした。しかしながら現代では、病原ウイルスの

遺伝子解析は終了し変異型の追跡もされております。また対処法としてウイルス遺伝子を基にしたmRNAワクチンが存在し、免疫学的治療法や呼吸補助の方法についても進展しています。昨年のインフルエンザ肺炎の抑制は公衆衛生学的対策とワクチン接種が、重症化を阻止できる良い例だと思います。

当院は、これまで地域包括ケア病院として通常診療を主体として参りましたが、2021年8月末から病棟118床の半数を感染症用26床に転用し、東京都の感染症重点医療機関として八王子市新型コロナウイルス感染症医療態勢支援チームに参画することになりました。救急の外傷診療や在宅医療支援については病床数減少に伴って御不便をおかけすることもあるかと思われますが、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。



外科部長 北山 卓



薬のおはなし

お薬の保管方法について

皆さんもお藥をどこに保管していますか？

薬は基本的に **高温** **光** **湿気** が苦手です。これらのない場所が保管場所に適しています。

上記の場所を避けて、**蓋のしめる缶**、**タッパー**、**チャック付きポリ袋**等に乾燥剤と一緒に入れておくのがよいでしょう。飲み忘れるから**食卓**に置いておきたい、**お薬カレンダー**にセットしたい等の場合、**短期間分**だとしておくぶんにはよいでしょう。

冷所保存等、特に指示のあるものは、**それに従って保管**しましょう。ちなみに**冷所**とは**1~15°C**です。凍ってしまうと**変質**してしまうので、**冷氣の吹き出し口**や**チルド室**は避け、凍らないよう気を付けましょう。



夏場は部屋の中も暑いけど、大丈夫？

大体の薬は、**室温保存**です。この室温とは**1~30°C**と決められています。

夏は**30°C**を超える日も多いですね。では**冷蔵庫**にいれたほうがいいでしょうか？



これは**薬**によるものです。**内服薬**（錠剤、カプセル剤、散剤）は、冷蔵庫から出し入れするときの**温度差**で結露し、湿気る恐れがあります。夏場でも冷蔵庫には入れず、部屋の中でできるだけ涼しい場所に置くのがよいでしょう。**軟膏**、**クリーム**、**坐薬**は、溶けてくる場合もあるので、室温保存のものも暑い時期は冷蔵庫に入れておくとよいでしょう。



薬剤師 萩島 千鶴

医療法人財団興和会 右田病院

住所：〒192-0043 東京都八王子市暁町1-48-18
TEL：042-622-5155（代表）

院長 右田 隆之

従業員数 210名 開設 昭和8年11月

標榜科目

- 消化器外科・整形外科・呼吸器外科・乳腺外科
- 形成外科・外科・消化器内科・循環器内科
- 内科・泌尿器科・皮膚科・麻酔科
- リハビリテーション科・救急科

病床数

- 地域包括ケア病棟 118床

東京都指定二次救急医療機関/在宅療養支援病院

日本外科学会認定専門医制度関連施設

日本整形外科学会専門医師研修施設

日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設

日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

アクセス

- 京王八王子駅下車徒歩17分
- JR八王子駅下車徒歩22分
- JR八王子駅・京王八王子駅より
「宇津木台行」・「ひよどり山トンネル経由創価大学行」
「ひよどり山トンネル経由富士美術館行」・「ひよどり山トンネル経由戸吹行」
上記各バス「八王子郵便局」バス停下車徒歩4分

医療法人財団興和会 みぎたクリニック

住所：〒192-0066 東京都八王子市本町13-8
TEL：042-621-5655（代表）

院長 鴨 宣之

従業員数 40名 開設 令和2年7月

検診内容：人間ドック・各種健診

診療科：乳腺科・内科

マンモグラフィ精度管理中央委員会認定施設

アクセス

- JR八王子駅下車徒歩15分
- 路線バス 西東京・京王バス「八日町一丁目」バス停下車徒歩5分

MAP



医療法人財団興和会
右田病院

<http://www.migitahosp.or.jp/>



医療法人財団興和会
みぎたクリニック

<http://www.migitaclin.com>



超音波検査について

検査のお話

超音波検査とは、人の耳では聞くことができないほど高い周波数の音波を対象物に当て、反射した音波を利用して映像化する検査方法です。検査時には検査器具(プローブ)を使用します。プローブと肌が密着するよう『検査用ジェル』を肌に塗布してから行います。またプローブは種類があり、観察目的の臓器によって使い分けています。

この検査は様々な臓器を観察し、臓器の大きさや形に異常がないか、腫瘍ができていないか、血管の状態、血液の流れの異常などを発見することを目的としています。また、妊娠時にお腹の中の赤ちゃんの状態を確認するためにも実施されます。

この検査のメリットとして、被ばくの心配がない、結果をすぐに得られる、痛みが少ない、比較的短時間で行える、などがあげられます。

反対にデメリットとして、超音波が空気(ガス)に弱く、肺や消化管のガスがかぶってしまう場合に観察が困難となります。また食事の制限をお願いする場合もあります。

主な超音波検査					
● 腹部(肝臓・腎臓・脾臓・胆囊・胆管・脾臓)			● 泌尿器(膀胱・尿管・前立腺)		
● 婦人科(子宮・卵巢)			● 心臓	● 乳房	
● 甲状腺			● 頸動脈	● 下肢静脈	など

上記にあるように、多種多様な臓器を観察することができます。
侵襲性の少ないとから健診で行われることが多い検査です。

観察目的の臓器によっては『食事をしない』『尿をためておく』など、事前の準備が必要な場合があります。これらを忘れてしまうと、検査ができないわけではありませんが、しっかりと観察ができず、正確な報告ができなくなってしまう場合があります。検査を受ける際は事前の説明をよく確認しましょう。



臨床検査技師 佐藤 紐乃



食物アレルギーについて



栄養士のひとりごと

食物アレルギーとは食物を摂取した際、体が食物に含まれるたんぱく質などを異物として認識し自分の体を過剰に防御することで不利益な症状を起こすことです。

食物アレルギーは人によってその原因となる物質と反応をひき起こす量が異なります。全年齢通しての発症率は1~2%程度です。重篤度、症例数の多い7品目(特定原材料:えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生)については食品表示基準で表示を義務付けし、過去に一定の頻度で健康被害が見られた21品目については表示を推奨しています。

現在のところ有効な治療方法はなく原因となるアレルゲンを摂取しないことで防ぎます。乳児、幼児期の即時型食物アレルギーの主な原因である鶏卵、牛乳、小麦はその後加齢とともに多くは耐性を獲得します。学童から成人で新規発症する即時型の原因食物は甲殻類、魚類、小麦、果物類、木の実類が多く、耐性獲得の可能性は乳児発症に比べて低くなります。



牛乳で下痢をする人の中には乳糖不耐症といって乳糖を分解する酵素を持ち合わせていない、あるいは少ない人がいます。これは食物アレルギーには含まれません。牛乳はカルシウムが多く吸収率も高い食品です。骨折予防のためにも、アレルギー診断されていない方は、ぜひ飲んでいただきたい食品です。温めたり、少量ずつ飲むことで症状がでにくい人もいます。料理に使っても良いと思います。食べ物の好き嫌い、偏りが多いと摂取できる栄養素が限定されてしまいます。特にカルシウムは取りづらい栄養素の一つです。牛乳1パック(200ml)で一日目標量の3分の1が補えます。たんぱく質も6.6g程度と、筋肉量増加に働きかけるロイシンというアミノ酸も含まれています。

大人になっても、食事は好き嫌いを言わずに何でも食べて健康な体を維持しましょう。

管理栄養士 藤江 美智子

▼ 特定原材料 7品目 表示義務



▼ 特定原材料に準ずるもの 推奨21品目





7月
OPEN!!

増築棟完成!!

2021年7月 増築工事を終えて新棟を無事オープンすることができました。

増築部分は2階のリハビリテーションスペースを拡充して、3階・4階の病棟はそれぞれ18床を増床し病棟の拡張を行い、全床118床の地域包括ケア病棟となりました。

入院されている患者さんの多くは高齢者で、入院の原因となった疾患だけではなく、基礎疾患の治療や廃用の進行に対するリハビリテーションを必要とするため入院期間が長期化する傾向があります。今回36床の増床とリハビリテーションの拡充により、従来満床などで受け入れられなかった患者さんも入院治療ができる、自宅あるいは元の施設にお戻しが可能となります。



全床 地域包括ケア病床

当院ではできる限り落ち着いた療養生活を送っていただけるようすべての病床を『地域包括ケア病床』として治療からリハビリテーションまで一貫した体制を整え、従前の生活へお戻しできるような取り組みを行っています。

リハビリテーションの機能拡充

新リハビリテーション室は従前より約1.5倍の広さとなり、スタッフも増員してリハビリテーション体制を強化しています。

骨折・関節疾患などの整形疾患から、外科手術や内科疾患で体力低下してしまった方まで、幅広く対象としています。

入院患者さんは早期から全身状態を管理しながらリハビリテーションを開始します。

外来でのリハビリテーションも引き続き積極的に行うとともに、入院患者を中心とした退院後の自宅生活への不安がある方への短期集中的な訪問リハビリテーションも提供しています。

永続的な在宅生活が叶いますように入院から退院後の生活まで専属のスタッフが一貫してサポートさせて頂きます。



なお、第5波の新型コロナウイルス感染症八王子地域の医療機関、救急搬送受入困難状況から8月23日より当面の間B病棟に東京都新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関として中等症・疑似症受入病床を26床登録いたしました。これまでの発熱外来やコロナ疑いの方を受け入れてきた実績・経験・ノウハウを活かし対応していきます。ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

医療法人財団興和会 法人本部 本部長 菊地 晶紀